

社長さん! 訪問記 #012

株式会社金精社 金子 貴博さん

印刷が得意なサービス業として、
お客様の課題を丸ごと聞きたい!



株式会社金精社 代表取締役社長 金子貴博さん

昭和47年生まれ。埼玉県川越市育ち。大学卒業後、医薬品卸会社の営業を経て、平成10年に金精社に入社。先代社長・金子政彦氏は伯父。平成22年、創業50周年の時に社長就任。

メディアが多様化する中でも、本業で勝負

印刷物の企画・制作・印刷・発送まで、トータルで請け負う会社です。企業、自治体、大学など直販のお客様が多く、パンフレット、試験問題、学校案内、マニュアルなどのページ物を得意とし、チラシ、ポスターなども手がけています。昨年から、新規顧客を開拓しようと、ネットで気軽に注文できる「オリジナルノート」の販売を始めました。表紙にロゴや写真を入れて企業のノベルティなどに活用していただこうとB to Bをもくろんでいましたが、意外にもB to Cの反響の方が大きく、新たな展開を感じています。

ネットの普及で印刷業界も激変しました。機械を手放して制作のみに縮小したり、異業種へと手を広げる印刷会社も少なくありません。そんな中、当社は無理な価格競争はせずに、印刷業に専念しています。

基本は対面営業。お客様の課題を聞く!

都内を中心に営業している4名の担当者のほか、私自身も営業をしています。社長業に専念しようと思うのですが、大切なお客様はなかなか引き継ぐことができなくて…。心がけているのは、お客様との対

面でのコミュニケーション。強いパイプを作るにはこれしかないと思っています。「印刷が得意なサービス業」という気構えで、印刷以外でも「まず金精社に聞いてみよう」

とさせていただける存在を目指しています。

東日本大震災の後、紙の製造が一時ストップし、業界全体が紙不足に陥りましたが、日頃から信頼関係を築いていた紙卸商のおかげで紙の供給が滞ることなく、お客様にご迷惑をかけずに済みました。また、社員が休みやすいように半休制度を導入。協力会社との良好な関係や、社員を大事にすることは、お客様の安心と信頼につながると考えています。

今後でもできることから着実に実行していきます。

爽やかで誠実な金子社長。お客様の懐に飛び込む営業スタイルが会社の強みだと感じました。



本社近くのビルで、菊全判と菊半裁の印刷機が稼働しています。製本、梱包、発送まで同ビル内で完結するワンストップ体制

株式会社金精社

練馬区羽沢3-28-8

☎ 03-3994-5801

<http://www.kinseisha.co.jp/>

昭和35年、千代田区三崎町で創業。

昭和49年、練馬区に移転。東京グラフィックサービス工業会に加盟し、人脈を広げている。社員14名とパート6名。



平成30年度

練馬区産業融資資金あっせん制度 《事業資金の融資を低利でご利用いただけます》

練馬区では、区内中小企業者の皆さまが低利で事業資金をご利用いただけるよう、取扱金融機関のご協力のもと、産業資金の融資をあっせんしています。

貸付種類により利用者負担金利や必要書類などが異なりますので、詳しくは下記までお問い合わせください。

貸付種類はほかにもアニメ産業特別貸付、地球温暖化等環境対策特別貸付、災害貸付や、新たに事業を始める方向けの創業支援貸付などがありますので、ご利用ください。

主な貸付種類	利用者負担金利	資金限度額
普通貸付	0.9%	2,500万円
景気対策特別貸付	0.2%	1,500万円
年末短期貸付*	0.4%	300万円

※受付期間：10月・11月

■ 申込・問合せ：練馬ビジネスサポートセンター内 練馬区経済課融資係 ☎ 03-5984-2673

<https://www.city.nerima.tokyo.jp/kusei/sangyo/jigyosha/yushi/>